

# 秋田県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

## 選抜概要

- 秋田県の公立高校入試は、前期選抜と一般選抜の2回行われます。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
前期	1/14(金)~18(火)	—	1/27(木)	2/4(金)
一般	2/10(木)~15(火)	2/17(木)~21(月)	3/8(火)	3/16(水)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。  
ただし、一般選抜の場合、設置学科が2つ以上ある学校の場合、2学科まで志願することが出来ます。  
また、2次募集は、前期選抜と一般選抜の合格者計が募集定員に満たない学校において行います。募集人員は当該学科の募集定員までの人数とします。

## 前期選抜

- 前期選抜は、各学校の示す「出願の条件」を満たしている受検者が対象の自己推薦型入試となっており、募集人員は定員の10~30%です。  
そのうち、県外居住者の入学者数は募集定員の10%が上限となります。
- 学科の志願者数が募集人員の3倍を超えた場合、一次選抜と二次選抜に分けて試験を実施することがあります。一次選抜不合格者には「入学検定料領収済証明書」が発行され、一般選抜への出願の際に、この証明書を入学検定料に代えることが出来ます。
- 選抜資料

・学力検査(又は口頭試問)	国語・数学・英語の3科(学力検査は各45分)
・調査書	「各教科の学習の記録」の評定
・面接	全員実施
・学校独自検査	希望する学校で作文や実技を実施
・その他必要な書類	志願理由書など

各選抜資料の配点は各学校で定めます。出願条件および配点を確認しましょう。

- 調査書の「各教科の学習の記録」には、3学年分9教科5段階の評定が記載されます。

## 一般選抜

●一般選抜の募集人員は、定員の70%~90%になります。  
ただし、前期選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その分を加えた人数となります。

### ●選抜資料

・学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（国数英各60分，理社各50分）
・調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定（3年次） 3年次の評定（5教科〔国・数・英・理・社〕の評定値）+（4教科〔音・美・保健体育及び技・家〕の評定値×2）=最大65点
・面接	全員実施

●上記の資料を用いて、総合的に選抜を行います。

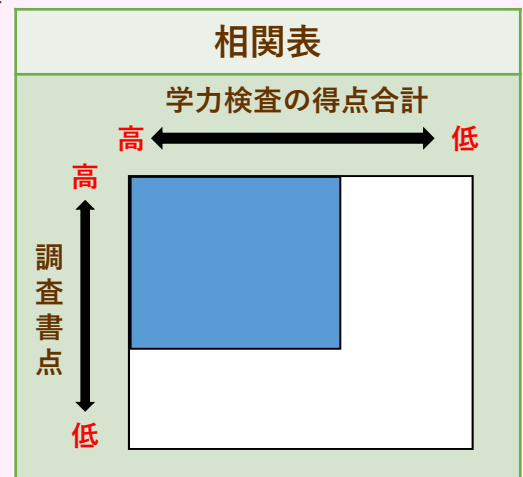
## 選抜方法

●一般選抜の合否判定は以下の①・②に基づき、総合的に判断して選抜します。

- ①学力検査の検査得点の合計と調査点を基に各学校で作成した相関表
- ②調査書の記載内容及び面接の評価に配する資料

- ・調査書の記載内容及び面接の評価を用いて、網掛けの部分から総合的に判断して選抜します。
- ・網掛けの範囲は各学校で定められます。

●志願先を変更した受検生と、最初からその学校へ志願した受検者とは、同等に扱うものとします。



## 選抜の変更予定

●秋田の公立高校入試は、2023年より変更予定です。

現在の前期・一般選抜を1次募集（特色・一般選抜）に一本化し、3月上旬の同一日に実施します。大きな変更としては、受検が1回となることと、全員が5教科の学力検査を受けるという点が挙げられます。

詳しい変更内容等については秋田県教育委員会のHPをご覧ください。